

第28回JTU関東ブロックトライアスロン選手権大会選手選考基準

※「鹿児島国体2023」栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・山梨県・神奈川県各県代表選手選考についての詳細は、各県の国体関連ホームページでご確認ください。

国体への出場を希望する選手は「在勤」「在住」「ふるさと」に該当するいずれか一つの都道府県の予選会に出場できます。

どの都道府県の予選レースに出場するかはご自身でお決めください。（複数の予選会に出た場合、資格が自動的に取り消されます。）

- *「在勤」「在住」「ふるさと」による国体出場：令和5年4月1日時点で18歳以上、選考レースまでに2023年JTU会員登録手続きを完了した者で、住民登録もしくは在勤場所が令和5年4月1日以前から競技開催日10月8日まで栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・山梨県・神奈川県内の方。
- *「ふるさと」基準による国体出場：令和5年4月1日時点で18歳以上、かつ卒業中学校又は卒業高校にいずれかが栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・山梨県・神奈川県の方。

※関東ブロック各県団体以外に登録している選手（例えば東京都連合）は通常であれば第Ⅱ群（オープン参加）となるところですが、上記「在勤」「在住」「ふるさと」基準で国体予選への参加を希望する選手は、国体代表選考の目的だけの第Ⅰ群として関東選手権大会に出場できる優先権を認めます。申込み時にお申し出ください。（この選手は、日本選手権の出場資格の対象にはなりません。）

以上のいずれかの出場条件を満たし、関東選手権大会を栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・山梨県・神奈川県予選として競技した選手の男女各3位までの選手（正選手2名、予備登録1名）を「鹿児島国体2023」の県代表としてそれぞれの県スポーツ協会へ推薦します。また辞退者が出た場合、ロールダウン（繰り下げ）を行います。

・選手選考基準

(1) 関東ブロック選手権出場許可の選考基準について

2023年12月末日時点で18歳以上の男女。（通常、高校3年生で12月末まで生まれ可）。関東選手権大会は、競技の安全性を確保するため参加者定員を男女各70名とさせていただきます。申込者がこれを上回る場合、

- ①下記の第Ⅰ群だけで各70名を超える場合は、第Ⅰ群の中で（＝第Ⅱ群は全員出場できず）
- ②第Ⅰ群が各70名未満でも第Ⅱ群を合わせると37名を超える場合は、第Ⅱ群の中で（＝第Ⅰ群は全員出場許可）

以下の優先基準(1～7)により、出場許可者を選考します。

第Ⅰ群：日本選手権大会関東ブロック推薦対象選手（関東ブロック各加盟団体登録選手＋関東ブロック各県在住の学連登録選手）および次項(2)の学連東京登録選手

第Ⅱ群：上記以外のオープン参加選手

<優先基準>

1. 海外・国内コンチネンタルトライアスロンカップ出場有資格者
2. JTUタレント認定選手
3. 2022年日本選手権東京・お台場大会出場選手
4. 2022年関東選手権大会で1～3位の選手
5. 2022年関東ブロック各県の選手権で1～3位の選手
6. 2022年日本学生選手権で1～30位の選手
7. 関東ブロック協議会推薦選手

(考慮対象大会) 2022年関東選手権大会、2022年日本学生選手権大会、2023年認定記録会

関東選手権の第Ⅰ群は関東ブロック加盟団体から推薦が必要ですが、選手が個別に加盟団体から推薦を貰う必要はありません。

選手が申込み後、大会事務局が各加盟団体へ推薦するか否かの照会を一括して行い、推薦があれば、第Ⅰ群の選手となります。

(推薦基準は、各県加盟団体にお問い合わせ下さい) 推薦が得られなければ第Ⅱ群（オープン参加）となります。

選考結果は全員に電子メールで通知します(5月下旬を予定)。出場を許可された方は許可通知後8日以内に参加費をお支払いください。

・加盟団体別関東ブロック選手権出場選手数

2022年度の登録会員数により、各加盟団体へ出場選手枠を振り分ける。調査の結果各加盟団体登録会員数は以下の通り。母数を3660名として、70名の出場者を下記のように振り分ける。登録会員数に対して出場が70名であるから、1スロットは52.29名の登録会員が必要。

県／2021年登録会員数／出場予定者数（小数点以下切り上げ）／実出場者数

栃木／124／3／3

茨城／289／5／5

群馬／237／5／5

埼玉／697／14／13

山梨／61／1／2

千葉／785／15／14

神奈川／1554／31／28

* 救済措置は以下のとおり

- ・ 計算通りでは74名となり、4名オーバー。
- ・ 山梨の1名は少ないのでプラス1で5名オーバー。
- ・ 神奈川から3名削り、千葉、埼玉から1名ずつ削り70名。
- ・ 募集締め切り時に定員に満たない場合、定員以上の出場を望む県は、関東ブロック協議会で討議ののち出場が可能となる場合もある。

以上